

カリキュラム：新入社員フォロー研修

時間	学習項目	概要
9:30-9:55 オリエンテーション・導入	・研修テーマの共有 ・学習目的の確認 ・学習目標の確認 ・アイスブレイク（この半年を3ワードで表す）	この研修が目指すゴールと全体の流れを把握し、自分自身の経験に意味づけをする準備を行う時間。冒頭では「半年の歩みを力に変える」というテーマを共有し、目的・目標の理解を通じて学習意欲を高める。アイスブレイクでは、この半年を3つの言葉で表現するワークを通じて感情と経験を可視化し、自己開示と共感を生む土台をつくる。
9:55-11:00 モジュール1 半年間を振り返り、「自分のストーリー」を語る	・半年間の経験を言語化する ・経験学習モデルの理解 ・振り返りの3ステップ ・ワーク：仕事の旅マップ作成 ・グループ内での共有と対話	このモジュールでは、半年間の出来事を振り返り、自分なりの成長の軌跡をストーリーとして整理することを目的とする。単なる経験の羅列ではなく、Kolbの経験学習モデルに基づいて「内省 → 概念化 → 行動」へとつなげる構造的な振り返りを行う。3ステップを用いて、印象的な出来事・感情・学びを言語化し、最終的には「自分らしさ」や「強みの行動パターン」に気づくことを促す。作成した「仕事の旅マップ」はグループで共有し、他者の視点やフィードバックを通じてさらなる気づきを得る。
11:15-12:10 モジュール2 これからの成長に必要な「視座」を手に入れる	・視座によって捉え方が変わることを理解する ・「不安の正体」が視座に関係していることに気づく ・視点・視野・視座の違いを知る ・成長する人の「3つの視座」を学ぶ ・ワーク：視座を変えるフレームワークでの実践と対話	このモジュールでは、日々感じている不安や葛藤の正体を「視座の未成熟」として捉え直し、それを前向きな成長機会とする視点を身につける。視点・視野・視座の違いを学び、「成長視点」「貢献視点」「長期視点」という3つの視座の存在を理解することで、物事の意味づけを変える力を養う。ワークでは、自身の悩みや課題を異なる視座から見直すことで、新しい解釈や可能性を引き出す体験を行い、他者の視点と比較しながら思考の幅を広げる。
13:10-14:05 モジュール3：「わたらしい働き方」と未来アクションの言語化	・自分らしく働くとは何かを考える ・自分の価値観を明確にする ・仕事における3つの価値軸（成果・プロセス・関係性）を知る ・未来に向けたアクションを言語化する ・ワーク：価値観宣言とアクションプランの作成	このモジュールでは、これまでの振り返りと視座の整理を踏まえ、「わたらしい働き方」を具体化し、未来に向けた行動を明確にする。まずは「自分らしさ」の源となる価値観を言語化し、成果・プロセス・関係性の3つの価値軸を使って自分が大切にしたい要素を整理する。その上で、「3年後の自分」から逆算して今必要な行動を描き出し、明日から実行できる一歩として可視化する。最後に上司と共有することを見据え、言葉にして残すことで、未来へのコミットメントを
14:05-14:35 クロージング	・今日の気づきを一言で表現 ・フィードバック&応援メッセージの記入 ・一人ひとりの宣言で締めくくる	学びを言語化し、他者からのフィードバックと応援メッセージを通じて前向きな感情を共有する。最後は参加者一人ひとりが自分の言葉で「明日からの行動」を宣言し、研修の成果を自らの意志として定着させる。